

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年12月18日)

- 1 美保基地所属航空機（C-2輸送機）の部品落下について
【市町村課】・・・ 1ページ
- 2 平成30年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について
【市町村課】・・・ 2ページ
- 3 令和元年度鳥取県文化功労賞受賞者の決定及び表彰式の開催について
【文化政策課】・・・ 9ページ
- 4 鳥取県民文化会館のレストラン施設について
【文化政策課】・・・ 10ページ
- 5 東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会第3回総会の開催結果について
【スポーツ課】・・・ 11ページ
- 6 平井知事とジャマイカ首相との面談結果について
【スポーツ課】・・・ 12ページ
- 7 学生デザインコンペティション2019「地域特性を活かした空き家の利活用」の
審査結果について
【中山間地域政策課】・・・ 13ページ
- 8 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【文化政策課】・・・ 14ページ

地域づくり推進部



美保基地所属航空機（C-2輸送機）の部品落下について

令和元年12月18日
市 町 村 課

12月11日に確認された美保基地所属航空機C-2輸送機の部品落下について、報告します。

1 事案の概要

航空自衛隊美保基地において、12月11日（水）に実施されたC-2輸送機の飛行前点検時に前日の点検で確認されていた次の部品がないことが確認されたもの。

【落下した部位等】

○ランプ扉アクチュエーター付近バンパー1点

大きさ 縦 98mm × 横 50mm × 厚さ 5mm

重さ 183.5g

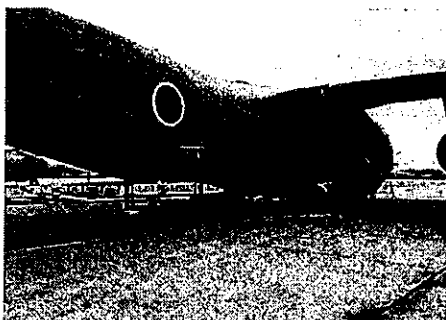
材質 耐食鋼

○ハイライトピンの一部2点

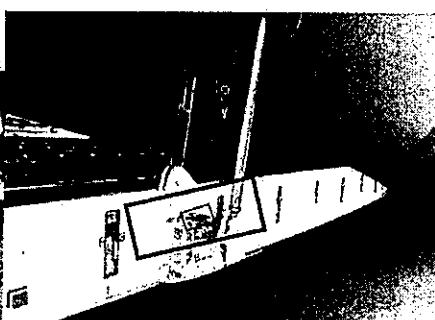
大きさ 直径（頭）8.4mm

重さ 1.0g未満

材質 チタン合金



落下部品の位置



落下部品の位置（拡大）



落下部品（正常な状態のもの）

2 美保基地からの説明

12月12日（木）午後3時すぎ、美保基地井上監理部長、酒井渉外室長が県地域づくり推進部長を訪問し、事案の概要、今後の対応について説明。

【説明内容】

- ・落下部品はランプ扉を開かない限り外に出ることはない位置にあることから、当日（12/10）午前実施した物料投下訓練のためランプ扉を開いたときに落下したものと推測。
- ・原因は調査中。原因究明のため、製造元に分析・調査を依頼し、部品が確実にとれないようにする対策についても検討を依頼している。原因を特定し、対策を講じるまで飛行訓練中にランプ扉を開閉しない。（扉が閉じている間は密着されて外れない。）
- ・従前、飛行と飛行の間で1回行っていた点検について、飛行の前後で複数回実施することとし、点検方法も基本目視であったが、細かくチェックできるよう点検の要領を見直す。
- ・美保基地内のすべての航空機について点検を実施し、問題はないことを確認。

3 県の対応

上記2で訪問された美保基地監理部長に対して、説明を聞いた上で直接厳重に抗議し、申入れを行った。

- ・住民の安全安心に不安を与えるこのような事案が発生したことは誠に遺憾であり、県民の安全安心を守る立場から厳重に抗議する。
- ・今後このような事案を発生させないため、予断のないよう考えられる事象を洗い出して万全の対策を講じた上でより一層の安全運航に努めるよう改めて強く申し入れる。

平成30年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について

令和元年12月18日
市 町 村 課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

(1) 健全化判断比率

- 早期健全化基準以上となる団体 . . . なし
- 健全化判断比率の状況（対前年度比較）
早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

①実質赤字比率	. . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし
②連結実質赤字比率	. . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし
③実質公債費比率	. . . 起債発行の抑制や繰上償還などによりおおむね減少傾向にあり、地方債発行に許可が必要な18%以上の団体も無い。
④将来負担比率	. . . 起債発行の抑制等に伴う起債残高の減少等によりおおむね減少傾向にあり、各団体とも健全な財政運営に努めている。 * 将来負担比率なし（＝起債残高等の将来負担額が、基金残高や後年度に措置される交付税より少ない）の団体 若桜町、三朝町、伯耆町、日南町、日野町

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、別紙「各市町村の健全化判断比率一覧（平成30年度決算）」を参照。

(2) 資金不足比率（公営企業に係る指標）

- 経営健全化基準以上となる団体 . . . なし
- 資金不足比率の状況 . . . 下表のとおり
(境港市の土地区画整理費特別会計のみ資金不足が発生)

市町村名	公営企業会計名	資金不足比率		
		平成30年度 決算	平成29年度 決算	資金不足比率の増減要因
境港市	土地区画整理費特別会計	5.3%	6.6%	土地の売却が進んでいないため

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））。
資金不足比率の経営健全化基準＝20%

【別紙】各市町村の健全化判断比率一覧（平成30年度決算）

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

（単位：％）

市町村名	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
鳥取市	— (*1) (-) (*2)	— (-)	10.8 (11.2)	63.1 (68.7)
米子市	— (-)	— (-)	10.6 (11.9)	101.3 (117.2)
倉吉市	— (-)	— (-)	13.4 (13.2)	108.5 (113.8)
境港市	— (-)	— (-)	13.4 (13.4)	125.2 (137.2)
岩美町	— (-)	— (-)	12.7 (13.1)	41.3 (47.7)
若桜町	— (-)	— (-)	6.7 (6.3)	0.2 (-)
智頭町	— (-)	— (-)	10.0 (10.5)	107.1 (93.7)
八頭町	— (-)	— (-)	8.9 (8.2)	17.1 (8.9)
三朝町	— (-)	— (-)	9.6 (9.4)	— (-)
湯梨浜町	— (-)	— (-)	13.3 (14.1)	28.0 (9.5)
琴浦町	— (-)	— (-)	13.8 (12.8)	118.6 (106.8)
北栄町	— (-)	— (-)	13.8 (13.0)	93.8 (96.2)
日吉津村	— (-)	— (-)	10.2 (9.6)	22.0 (16.0)
大山町	— (-)	— (-)	10.5 (9.7)	4.6 (9.7)
南部町	— (-)	— (-)	13.8 (12.8)	37.8 (17.1)
伯耆町	— (-)	— (-)	8.4 (8.0)	— (-)
日南町	— (-)	— (-)	7.4 (8.6)	— (-)
日野町	— (-)	— (-)	8.5 (11.6)	— (-)
江府町	— (-)	— (-)	12.6 (10.7)	71.3 (69.6)
早期健全化基準(*4)	11: 25~15 (*3)	16. 25 ~20 (*3)	25	350
財政再生基準(*4)	20	30	35	

* 1. 各指標の下端（ ）書きは、平成29年度決算における数値。

* 2. 「—」は、当該比率が生じていない（赤字なし）ことを表している。

* 3. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

* 4. 健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれかが早期健全化基準以上である場合には「財政健全化計画」を、再生判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率）のいずれかが財政再生基準以上である場合には「財政再生計画」を、それぞれ当該比率を公表した年度の末日までに定める必要がある。

<参考>健全化判断比率及び資金不足比率の説明

○実質赤字比率

地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{(地方債の元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}{\text{標準財政規模 - (元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}} \times 100$$

(3か年平均)

○将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{(充当可能基金額 + 特定財源見込額)} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}} \times 100$$

○資金不足比率

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$$

※資金の不足額

$$\text{資金の不足額 (法適用企業)} = \text{(流動負債 + 建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高 - 流動資産)} - \text{解消可能資金不足額}$$

$$\text{資金の不足額 (法非適用企業)} = \text{(繰上充用額 + 支払繰延額・事業繰越額 + 建設改良費以外の経費の財源に充てるために起こした地方債現在高)} - \text{解消可能資金不足額}$$

※事業の規模

$$\text{事業の規模 (法適用企業)} = \text{営業収益の額} - \text{受託工事収益の額}$$

$$\text{事業の規模 (法非適用企業)} = \text{営業収益に相当する収入の額} - \text{受託工事収益に相当する収入の額}$$

$$\text{事業の規模 (宅地造成事業のみ行う企業)} = \text{資本の額} + \text{負債の額}$$

<参考>

平成30年度市町村普通会計の決算の概要

<概要>

- 歳入総額は、庁舎整備等により繰入金が増加したほか、公共施設整備事業に係る過疎対策事業債等の増等により地方債が増加したものの、合併算定替の縮減等による地方交付税の減少、社会資本整備総合交付金の減等による国庫支出金の減少及び畜産競争力強化整備事業の減等による県支出金の減少等により、対前年度で減少。
- 歳出総額は、平成30年7月豪雨及び台風24号等に係る公災害復旧事業費が増加したものの、地域総合整備資金等の減等による貸付金の減少等により、対前年度で減少。
- なお、鳥取市の中核市移行（県からの権限移譲）に伴う歳出増加額は、10億89百万円。

<歳入>

(単位：百万円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般財源 計 A+B+C+D+E	169,629	52.5	170,427	52.6	▲ 798	▲ 0.5
地方税 A	67,068	20.8	66,979	20.7	89	0.1
地方譲与税 B	2,155	0.7	2,130	0.7	25	1.2
地方特例交付金 C	294	0.1	242	0.1	52	21.5
地方交付税 D	88,190	27.3	89,312	27.5	▲ 1,122	▲ 1.3
地方消費税交付金等各種交付金 E	11,922	3.7	11,765	3.6	157	1.3
国庫支出金	37,103	11.5	39,305	12.1	▲ 2,202	▲ 5.6
県支出金	25,348	7.8	27,175	8.4	▲ 1,827	▲ 6.7
地方債	35,560	11.0	33,078	10.2	2,482	7.5
繰入金	9,467	2.9	7,821	2.4	1,646	21.0
その他	45,818	14.2	46,469	14.3	▲ 651	▲ 1.4
歳入合計	322,925	100.0	324,276	100.0	▲ 1,351	▲ 0.4

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【地方交付税】合併算定替の縮減、一部の地方債元利償還金の算入終了等に伴う需要額の減等
- 【国庫支出金】社会資本整備総合交付金、臨時福祉給付金事業補助金の減等
- 【県支出金】畜産競争力強化整備事業補助金の減等
- 【地方債】保育所整備等の公共施設整備事業に係る過疎対策事業債の増等
- 【その他】中小企業金融対策貸付金等に係る元利収入や繰越金など諸収入の増等

<歳出>

(単位：百万円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	130,054	41.4	129,902	41.2	152	0.1
うち人件費	41,423	13.2	40,746	12.9	677	1.7
うち扶助費	56,420	18.0	56,547	17.9	▲ 127	▲ 0.2
うち公債費	32,211	10.3	32,609	10.3	▲ 398	▲ 1.2
投資的経費	37,810	12.0	41,513	13.2	▲ 3,703	▲ 8.9
うち普通建設事業費	37,810	12.0	38,659	12.3	▲ 849	▲ 2.2
うち補助事業費	15,105	4.8	17,648	5.6	▲ 2,543	▲ 14.4
うち単独事業費	22,224	7.1	20,404	6.5	1,820	8.9
うち災害復旧事業費	4,053	1.3	2,854	0.9	1,199	42.0
その他の経費	141,898	45.2	143,909	45.6	▲ 2,011	▲ 1.4
うち物件費	39,114	12.5	37,932	12.0	1,182	3.1
うち補助費等	41,786	13.3	39,585	12.6	2,201	5.6
うち積立金	6,395	2.0	7,362	2.3	▲ 967	▲ 13.1
うち貸付金	19,847	6.3	21,242	6.7	▲ 1,395	▲ 6.6
うち繰出金	30,167	9.6	33,147	10.5	▲ 2,980	▲ 9.0
歳出合計	313,814	100.0	315,324	100.0	▲ 1,510	▲ 0.5

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【貸付金】鳥取市の地域総合整備資金の減等
- 【普通建設事業費】鳥取市の畜産競争力強化整備事業の減等
- 【災害復旧事業費】平成30年7月豪雨及び台風24号に係る公共施設災害復旧費の増等

平成30年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位：百万円、%)

市町村名	繰入総額		繰出総額		実質収支		経常収支比率		地方債現在高		積立金現在高			
	増減額	一般財源	増減額	義務的経費	増減額	普通建設事業費	増減額	増減値	増減額	増減額	増減額	増減額		
鳥取市	100,818	△ 2,052	434	△ 2,464	△ 1,267	△ 104	2,763	182	87.8	1.2	104,981	3,703	12,902	△ 576
米子市	67,301	2,223	△ 505	2,473	29,760	332	7,047	△ 203	91.0	0.3	64,104	315	7,936	835
倉吉市	28,859	△ 1,341	△ 142	△ 1,223	11,948	△ 116	218	△ 195	95.9	0.7	30,799	△ 311	5,210	△ 341
境港市	15,823	△ 1,276	△ 155	△ 1,211	7,227	△ 9	1,624	2	95.8	2.5	12,129	△ 273	3,772	△ 349
岩美町	7,132	△ 344	93	△ 376	2,782	△ 17	813	5	86.8	△ 1.1	7,180	141	2,521	△ 75
岩手町	3,748	55	2,224	67	1,161	△ 12	614	△ 62	86.6	1.7	3,674	327	1,938	7
智頭町	6,001	79	3,889	112	5,824	117	1,995	△ 67	96.8	△ 1.2	7,726	169	2,620	△ 67
八頭町	11,732	1,085	6,937	850	4,261	△ 84	1,600	551	86.1	0.4	12,205	253	6,508	△ 70
三朝町	4,758	△ 95	3,013	△ 118	1,812	△ 71	366	△ 8	87.7	△ 1.2	4,988	△ 85	2,769	73
湯梨浜町	11,760	912	6,159	1,089	4,654	68	3,034	205	91.6	△ 0.7	13,026	762	5,889	△ 280
琴浦町	11,327	△ 435	6,339	△ 589	4,931	383	990	△ 147	94.3	5.3	13,442	△ 792	3,296	△ 546
北条町	9,481	△ 632	5,471	△ 592	3,707	△ 72	970	△ 198	94.4	4.7	7,406	△ 112	3,057	53
日吉津村	2,542	△ 74	1,464	△ 38	1,010	△ 22	418	83	80.8	△ 3.3	2,564	100	746	△ 37
大山町	11,347	△ 518	6,916	△ 637	3,857	△ 74	1,280	△ 496	91.6	0.6	10,490	△ 277	5,928	15
南郷町	7,577	436	4,618	453	2,845	3	982	113	92.2	0.1	6,220	△ 217	3,434	△ 201
伯耆町	8,554	1,105	4,967	1,084	3,011	33	1,581	211	87.7	△ 2.8	6,207	657	3,896	△ 14
日南町	7,276	179	3,613	182	1,642	△ 27	1,804	213	91.0	1.3	6,963	911	5,014	△ 86
日野町	3,618	△ 220	2,290	△ 202	963	△ 88	444	△ 190	87.4	3.7	2,853	328	2,247	136
江府町	3,272	△ 437	2,142	△ 374	1,218	26	144	81	90.2	1.5	3,759	△ 134	1,462	9
合計	322,925	△ 1,351	169,629	△ 1,510	130,054	152	37,810	△ 849	6,935	△ 991	320,716	5,467	81,143	△ 1,515

※繰越残高により、計と内訳が一致しない場合があります。
※一般財源とは、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税等をいう。

平成 30 年度市町村地方公営企業の決算の概要

○平成 30 年度市町村地方公営企業の決算について、収益的収支における総収益は 560 億 14 百万円（対前年度+19 億 69 百万円）、総費用は 484 億 75 百万円（対前年度+35 億 11 百万円）と、いずれも前年度と比べて増加した結果、収支差引は 75 億 39 百万円（対前年度△15 億 41 百万円）の黒字となった。

【収益的収支の増減（主なもの）】

<病院事業>

・鳥取市立病院は、患者数の減等により医業収益が減少した結果、赤字幅が拡大

<下水道事業>

・鳥取市農業集落排水施設は、他会計繰入金の減等により黒字幅が縮小

○資本的収支における資本的収入は 198 億 17 百万円（対前年度+12 億 10 百万円）、資本的支出は 360 億 41 百万円（対前年度+16 億 62 百万円）と、いずれも前年度と比べて増加した結果、収支差引は△162 億 24 百万円（対前年度△4 億 51 百万円）となった。

○総収支は、黒字幅が縮小し、9 億 10 百万円（対前年度△4 億 80 百万円）となった。

（単位：百万円）

区分	収益的収支								
	総収益			総費用			収支差引		
	30 年度	29 年度	増減	30 年度	29 年度	増減	30 年度	29 年度	増減
水道	11,596	11,340	256	10,591	10,403	188	1,005	937	68
工業用水道	24	24	0	23	24	△1	1	0	1
病院	16,364	16,690	△326	17,210	17,278	△68	△846	△588	△258
電気	589	694	△105	408	433	△25	181	261	△80
下水道	25,728	24,085	1,643	19,508	16,064	3,444	6,220	8,021	△1,801
市場	96	97	△1	42	45	△3	54	52	2
観光施設	605	610	△5	615	585	30	△10	25	△35
宅地造成	816	300	516	7	23	△16	809	277	532
駐車場整備	91	85	6	38	71	△33	53	14	39
介護サービス	106	120	△13	33	38	△5	73	82	△9
合計	56,014	54,044	1,970	48,475	44,964	3,511	7,539	9,080	△1,541

※端数調整のため、内訳と計が合わない場合がある。（以下の表についても同じ。）

(単位：百万円)

区分	資本的収支								
	資本的収入			資本的支出			収支差引		
	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減
水道	3,772	4,133	△361	7,704	8,602	△898	△3,932	△4,469	537
工業用水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院	2,208	1,346	862	3,238	3,153	85	△1,030	△1,807	777
電気	164	0	164	258	228	30	△94	△228	134
下水道	12,915	11,817	1,098	22,767	21,196	1,571	△9,852	△9,379	△473
市場	4	4	0	48	47	1	△44	△43	△1
観光施設	289	333	△44	352	357	△5	△63	△24	△39
宅地造成	20	878	△858	1,144	645	499	△1,124	233	△1,357
駐車場整備	243	21	222	258	7	251	△15	14	△29
介護サービス	202	74	128	272	144	128	△70	△70	0
合計	19,817	18,606	1,211	36,041	34,379	1,662	△16,224	△15,773	△451

(単位：百万円)

区分	総収支		
	(純損益(法適)+実質収支(非適))		
	30年度	29年度	増減
水道	1,003	763	240
工業用水道	1	0	1
病院	△846	△587	△259
電気	98	55	43
下水道	1,627	2,225	△598
市場	10	14	△4
観光施設	△56	△55	△1
宅地造成	△274	△334	60
駐車場整備	△654	△691	37
介護サービス	0	0	0
合計	910	1,390	△480

令和元年度鳥取県文化功労賞受賞者の決定及び表彰式の開催について

令和元年12月18日
文化政策課

県民文化の向上発展に資することを目的として、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった者の功労をたたえる鳥取県文化功労賞について、今年度の受賞者を決定し表彰式を開催しました。

また、受賞者の功績を紹介する記念巡回展、講演、リサイタルを実施します。

1 受賞者（年齢順、敬称略。年齢は表彰式時点のもの。）

氏名等	受賞理由
あべ あけみ 安部 朱美 (69歳) 創作人形 米子市	<ul style="list-style-type: none"> ・創作人形分野において、独自の技法を確立。人形をとおして「愛」「絆」「和み」を表現し、県内外で展示・講演活動やギャラリートークなどを精力的に行っている。 ・20年以上開講していた創作人形教室では、多くの人に人形作りの魅力を伝えてきた。 ・平成19年「宝鏡寺門跡人形展50周年記念人形公募展」大賞を受賞した作品「かあちゃんよんでは、平成22年に国民読書年ポスターに採用され、同年から全国巡回展を開催。平成29年には国立の博物館である昭和館において「青空教室」が常設展示され、平成31年にはモンテンルパ博物館（フィリピン）で「平和への祈りーアリシアと3人の愛児たち」が常設展示されるなど、作品は国内外で評価されている。 ・大山開山1300年祭にあたり「大山の大切な節目として多くの人に祝ってもらいたい」との思いから「御幸（神輿行幸）」を制作。記念式典交流レセプション、太山寺参道のサンセットカフェ等で展示され、現在は米子市立山陰歴史館に常設展示されている。
おおにし みずか 大西 瑞香 (68歳) 音楽 米子市	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年から箏曲集団「綸(いと)の会」を主宰。平成18年には和楽器集団「とっとり邦楽合奏団」を創設。公演活動のみならず、県内の小学校等において演奏やワーグショップを行い、和楽器を通して若い世代への伝統音楽の継承に尽力している。 ・鳥取県総合芸術文化祭で上演された「朝日座」「倉吉・ダブルストーリー」では作曲・演奏を担当し、「朝日座」で作曲した「米子八景」はCD出版され、広く鑑賞されている。 ・箏曲のほか洋楽器とのコラボレーションなどジャンルを越えた演奏活動を全国で展開するほか、平成25年にサンモリス国立音楽院（フランス）からの招聘により尺八奏者 古屋輝夫氏と公演を行って以降、毎年パリで開催される「箏・尺八デュオリサイタル」に出演するとともに箏の指導にあたり、国外における邦楽の普及にも寄与している。 ・大学で音楽教育に従事するほか、島根県出土の古代琴の復元・演奏や「日韓の伝統音楽教育」についての論説執筆など、様々な教育・研究活動に取り組んでいる。

2 表彰式

- (1) 日時 11月27日(水) 午前11時40分から正午まで
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室
- (3) 出席者 知事、受賞者、選考委員



3 受賞記念巡回展等の開催

- (1) 巡回展（安部氏の人形作品、大西氏の楽器・音楽作品等の展示）
 - ・倉吉博物館 令和2年1月11日(土)～19日(日) ※14日(火)休館
 - ・鳥取県立博物館 令和2年1月25日(土)～2月2日(日) ※27日(月)休館
 - ・米子市美術館 令和2年2月8日(土)～16日(日) ※12日(水)休館
- (2) 安部朱美氏記念講演 令和2年2月2日(日) 午後1時30分～（鳥取県立博物館）
- (3) 大西瑞香氏記念リサイタル 令和2年2月11日(火・祝) 午後2時～（米子市文化ホール）

※鳥取県文化功労賞について

平成15年度に創設し、これまでに21分野44名を表彰している。

鳥取県民文化会館のレストラン施設について

令和元年12月18日

文化政策課

鳥取県民文化会館に併設しているレストラン施設について、現在営業中のグリーンハウスが閉店することになりましたので、報告します。

1 閉店時期

令和2年3月31日(営業は3月22日(日)まで)

2 現在のレストラン施設について

(1)管理者

公益財団法人 鳥取県文化振興財団(鳥取県民文化会館の指定管理者)

(2)運営委託先

ホテルニューオータニ鳥取(日ノ丸観光株式会社)

(3)閉店理由

従業員の確保が難しく、ホテルの人員を強化するため

3 今後について

3館(県民文化会館、県立図書館、公文書館)利用者の利便性の向上に加え、県民文化会館及び周辺エリアの賑わいにも繋がるよう、県民文化会館利用者懇談会や文化会館及び周辺エリアの賑わいづくりを考える懇談会等の意見も伺いながら、レストランという形態も含めて運営について検討していきたい。

なお、県民文化会館の梨花ホールは特定天井の耐震工事等のため、令和2年2月～10月まで利用停止を予定(小ホールは3月～7月予定)していることから、梨花ホールの利用開始の時期までを目標に、再開を行いたいと考えています。

東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会第3回総会の開催結果について

令和元年12月18日
スポーツ課

東京オリンピック競技大会の聖火リレーについて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協力して、鳥取県内でのオリンピック聖火リレーを実施するために必要な準備及び実施運営を行う「東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会」第3回総会を開催し、パラリンピック聖火リレー「鳥取県聖火フェスティバル」の実施方針案について、承認されました。

- 1 日時 11月26日(火) 午後3時30分～4時
- 2 場所 ホテルニューオータニ鳥取・2階「はまなすの間」
- 3 出席者 鳥取県(平井知事)
鳥取県教育委員会(山本教育長)
公益財団法人鳥取県体育協会(中永会長)
鳥取県警察本部(津田本部長 ※代理:警備二課桑田課長)
一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会(福留会長)
公益社団法人鳥取県観光連盟(中島会長 ※代理:岡山専務理事)
※鳥取県市長会(深澤会長)及び鳥取県町村会(宮脇会長)は欠席。
- 4 議事 パラリンピック聖火リレー「聖火フェスティバル」実施方針案について

5 概要

(1) パラリンピック聖火リレー「聖火フェスティバル」実施方針案について

- ・実施期間:2020年8月13日～17日(5日間)
- ・実施内容:聖火フェスティバルの実施方針

項目	実施日・場所	内容
採火式	8月13日(木) 鳥取市、米子市	「砂丘の火」(鳥取市)及び「大山の火」(米子市)を鳥取県の特徴を活かした方法で採火
聖火ピジット	8月13日(木)～17(月) 全市町村	採火した2つの火が県内全市町村を訪問(聖火歓迎式や公共施設等で展示などを実施) ※実施方法は各市町村で決定。
出立式	8月17日(月) 倉吉市	県内をピジット(巡回)した2つの火を集火し、「鳥取県の火」として開催都市(東京)へ送る ※出立式会場周辺では、パラスポーツ体験会開催など、盛り上げを検討。

→詳細は、県実行委員会「パラリンピック聖火リレー部会」で今後検討を行う。

(2) その他(意見交換)

- 「聖火フェスティバル」実施に向けて、以下の視点で今後検討を行うことが確認された。
- ・「復興」がオリンピック・パラリンピックのテーマでもある。鳥取県中部地震から3年であり、倉吉を中心とした皆様に復興の足取りを確かにする聖火リレーにするほか、中部地震の復興に尽力された方に参画いただけるよう検討を進める。
 - ・各地の特色のある火を倉吉に集め、まさに“復興”から“希望の火”にする。
 - ・行事の企画運営に高校生など子供たちに携わっていただくなど、この貴重な体験を次の世代に繋げていく。
 - ・鳥取県らしいやり方で、市町村のアイデアなどが盛り込まれたものを工夫して実施。
 - ・聖火ピジットも単に役場に展示というだけではなく、より多くの住民の方に聖火に触れていただけるような行事を企画するなど、アクティブな活用をしていただけるよう市町村にも働きかけを行っていく。
 - ・具体的な検討を行う際は、障がい者団体とも意見交換を積極的に行い、連携を図りながら計画を立てていく。

平井知事とジャマイカ首相との面談結果について

令和元年12月18日
観光交流局交流推進課
スポーツ課

12月12日(木)に平井知事がジャマイカのアンドリュー・マイケル・ホルネス首相と面談を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプやジャマイカ・ウェストモアランド県との交流などについて意見交換を行ったので、その概要を報告します。

1 日時 令和元年12月12日(木)午後4時~4時20分

2 会場 帝国ホテル本館5階「ザ・サロン」
(東京都千代田区内幸町1-1-1)

3 出席者

【ジャマイカ】

- ・ジャマイカ首相 アンドリュー・マイケル・ホルネス
- ・駐日ジャマイカ大使館特命全権大使 クレメント・フィリップ・リカード・アリコック
- ・外務・貿易省 二国間関係局長 マリー・リチャーズ ほか

【鳥取県】

- ・鳥取県知事 平井 伸治
- ・鳥取陸上競技協会会長、ジャマイカ・鳥取友好議員連盟会長 浜崎 晋一
- ・小西スポーツ振興監、遠藤交流推進課長

【日本政府】

- ・駐ジャマイカ日本国特命全権大使 山崎 啓正



4 出席者の発言

<平井知事>

- ・お会いできて大変光栄に思うとともに、貴重な時間をいただき心から感謝。ホルネス首相はじめ、随員の皆様をぜひ鳥取にお招きしたい。
- ・ウェストモアランド県と鳥取県は姉妹提携を結び、スポーツにおいてもジャマイカ陸上競技連盟と鳥取陸上競技協会の友好提携や、ジャマイカオリンピック協会(JOA)、パラリンピック協会(JPA)とも関係がある。鳥取県は初めてジャマイカと姉妹提携を結んだ自治体。
- ・アリコック大使には鳥取に何度もお越しいただき、交流発展に協力いただいている。
- ・2020年東京五輪を通じて、日本とジャマイカ、ウェストモアランド県と鳥取県との更なる友好関係を築いていきたい。

<ホルネス首相>

- ・ジャマイカと日本は深い関係にあり、スポーツや文化、音楽、エンターテインメントが人とを繋げる大切な役割を果たしてきた。鳥取がジャマイカと友好関係を築いていることを大変嬉しく思うとともに、更なる発展を支援していきたい。
- ・ジャマイカオリンピック協会等から、2007年、2015年の事前キャンプで大変あたたかいおもてなしを受けたと聞いており、私たちの代表チームへの支援に心から感謝申し上げる。この秋の世界陸上でもジャマイカチームは好成績をおさめており、来年のオリンピックでも素晴らしい活躍を見せると期待している。
- ・ボルトも大会に出席する可能性がある。ボルトにはしばらく会っていないが、今後会った時に、鳥取に行くことを勧める。
- ・2020年に東京オリンピックに行くのを楽しみにしており、砂丘のあるユニークな鳥取に興味がある。開会式には出席する予定だが、スケジュールが調整できれば鳥取県を訪りたい。

<浜崎会長>

- ・2020年はジャマイカと鳥取の友好交流の一つの集大成の年。ジャマイカチームが大会で最高のパフォーマンスができるよう万全の体制でサポートさせていただくことをお約束する。
- ・鳥取にもレゲエグループやジャマイカ料理を代表するジャークチキンを出す店がある。来年ぜひ鳥取にお越しいただきたい。

学生デザインコンペティション 2019「地域特性を活かした空き家の利活用」の審査結果について

令和元年12月18日
中山間地域政策課

県内で建築を学ぶ学生を対象に「空き家の利活用」をテーマとしたデザインコンペティションが実施されましたので、概要を報告します。

1 学生デザインコンペティションの概要

- ・内容：鳥取県内の教育機関(大学、短大、高専、高校)の建築学科等で学ぶ学生を対象として、平成28年度から実施している建築設計のコンペティション。
- ・対象校：鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取工業高校、米子工業高校
- ・主催：(一社)鳥取県建築士会(青年・女性合同委員会)

2 令和元年度の実施概要

- ・テーマ：地域特性を活かした空き家の利活用
- ・趣旨：建築設計等を学ぶ学生の目線で、実在する空き家を題材に、地域特性を活かした利活用方法を検討し、新たな着眼点を提起し、実際の利活用に向けた機運醸成につながる提案を求める。
- ・期間：令和元年4月～11月(応募締切：9月30日)
- ・一次審査：10月20日、最終審査：11月30日(公開プレゼンテーション)

3 県・市町村の協力について

- ・題材となる空き家物件の提供について県を通じ県内市町村へ協力を依頼し、空き家バンクの運営等により把握しているものの中から所有者等の同意が得られた物件について提供があった。
(鳥取市、米子市、岩美町、智頭町、八頭町からの9件を採用。参加学生は任意の1件を題材とする。)
- ・参加学生が題材とする物件の現地確認等を行う際、市町村担当者に案内等対応いただいた。

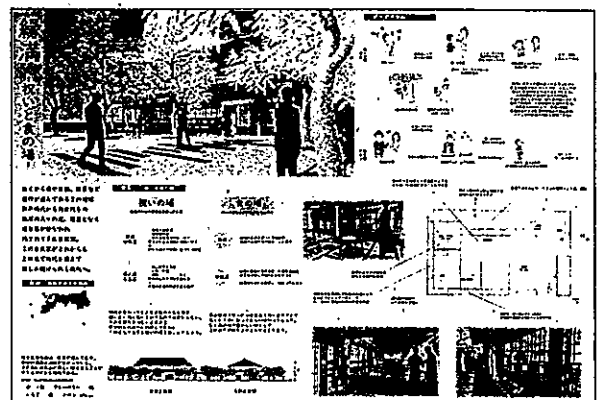
4 実施結果

- ・応募件数：23組(48名)
- ・応募作品の中から最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞等6点を選定。
最優秀賞： 緑満(えんまん)「祝いと食の場」(米子工業高等専門学校：野田・但井・山崎・松本)
[内容]古くから農作が盛んな地(米子市岡成)に立つ古民家を、周辺地域で作られる農産品を活かした食事会や披露宴等が行われる祝宴の場として再生する提案。
優秀賞： まほろば～高齢者向け集合住宅×蔵cafe～(鳥取大学工学部：大石・川村)
薫々(わらわら)[外国人向け宿泊施設](米子工業高等専門学校：秦・大下・河本・林)

※審査結果等については、今年度内に開催内容をまとめた印刷物を制作し、配布・公開する予定



最終審査・公開プレゼンテーションの様子



最優秀賞(緑満(えんまん)「祝いと食の場」)

<参考> 過去の学生デザインコンペティションの実施実績

- ・平成28年度テーマ：地域特性を活かした提案型の復興住宅(応募18作品、参加：50名)
- ・平成29年度テーマ：地域特性を活かしたとっとり型復興住宅(応募15作品、参加：46名)
- ・平成30年度テーマ：地域特性を活かした空き家の利活用(応募25作品、参加：70名)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	地域づくり推進部 摘要
文化政策課	とりぎん文化会館特定天井耐震 工事(建築・機械設備)	鳥取市 尚徳町	株式会社 懸樋工務店 代表取締役 懸樋 義樹	267,300,000円 (予定価格) 291,500,000円	令和元年12月14日 ～ 令和2年9月30日	令和元年12月13日	制限付き 一般競争入札 (2社)